



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.647 2022.7.20

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

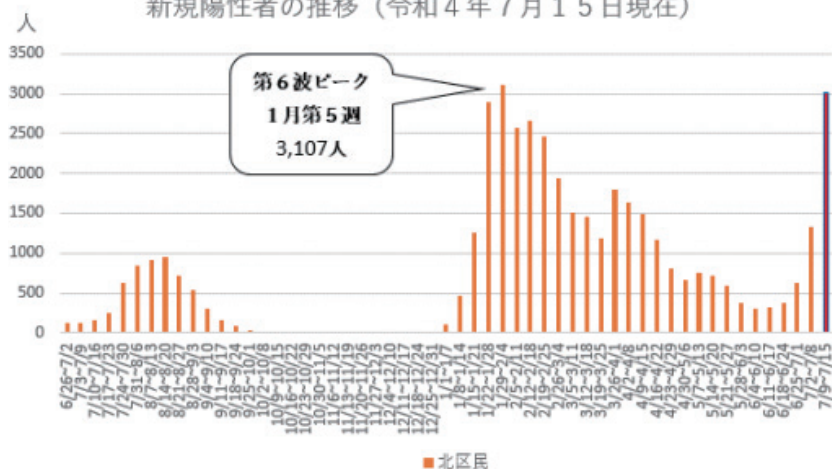
ご相談は お気軽に **090-2156-3510**



コロナ急拡大

最大規模の第7波が加速

新規陽性者の推移（令和4年7月15日現在）



感染力の強いオミクロン株の派生型「BA.5」の拡大に伴う新型コロナウイルス第7波が、北区でも加速しています。

今年初旬、第6波のピーク時（1月29日〜2月4日）には週単位での新規感染者数が

3107人でしたが、直近の速報値（7月9日〜15日）では、その数に迫る3012人に達しています。

北区は、「今後の感染急拡大について一層強い警戒が必要であり、感染防止対策の徹底と継続が重要」としています。

高齢者施設での定期検査継続

北区が独自に実施している高齢者入所施設や障害者施設での週1回の定期PCR検査は、9月末まで継続を予定。加えて東京都が実施する抗原定性検査も活用し、感染防止対策を強化します。

現在、王子駅前公園で実施されている東京都の無料PCR検査も、今後、会場を増設する予定です。（のの山けん）

子ども施設 従事者へ 慰労金

北区は、コロナ禍の下、職員自らが感染するリスクを抱えながら子どもたちを預かる民間の子ども施設等（幼稚園、保育施設、児童館、学童クラブ、放課後子ども教室、児童養護施設等）に、8月より支援金を支給します。財源は、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金で、施設従事者への慰労金や感染防止対策の経費として活用できます。（のの山けん）



赤羽駅東口地区のまちづくり

幅広い住民を対象に「再開発ありき」でない議論を

再開発ビルイメージ図（出典：丸紅都市開発）→



まちづくり協議会幹事会に区議がオブザーバー参加できるようになり良かったが、希望する一般区民にも幹事会の傍聴を可能にし、開かれた協議会にすべきではないか。

Answer

区として協議会に提案してみるが、役員以外の区民については、幹事会以外の場所で議論に参加してもらえるようなしくみを検討していきたい。



前回の協議会幹事会では、一般区民を対象にしたグループワークや東洋大へのグループインタビューが提案されたが、具体的には、どのように進めていくのか。

Answer

協議会で行っている討論形式のワークショップを、一般区民を公募し並行して進めたい。東洋大とは改めて連携を強化し、協力を求めていきたい。



市街地再開発のことを知らない住民が多い。区として再開発のしくみや、まちづくりに対するメリット・デメリットを明らかにする住民向け説明会や勉強会の開催を求める。

Answer

「第二・第三地区」は、合意形成や事業化に向けた過程にあり、目途が立たない下での説明会等は難しい。別な形での情報提供は続けていきたい。

13日の地域開発特別委員会で、市街地再開発計画が進む赤羽駅東口地区のまちづくりについて質疑しました。再開発計画は、東口駅前を3区画に分け、100戸を超える再開発ビル3棟を建設し、約1000戸の分譲マンションを誘致すると

いうもの。ララガーデンに近接した「第一地区」についてはすでに事業化され、一番街をはさむ両側の「第二地区」、「第三地区」も地権者の合意形成が進められていきます。この動きにあわせ、赤羽駅東口地区まちづくり協議会も活動を活性化させ

ています。私は委員会で、「協議会では『再開発ありき』ではなく、メリットやデメリットも示し、幅広い住民を対象に議論を進めるべき」と主張。協議会事務局を務める区の積極的な対応を求めました。（概要は左記・の山けん）

都営住宅 入居申込相談会

8月5日(金)午後6時～8時

8月6日(土)午前10時～12時

8月7日(日)午後2時～4時

今回の募集は、家族向(ポイント方式)・単身者向・シルバーピアなどです。相談の際は、申込み用紙と収入がわかるもの(源泉徴収票、確定申告書など)をご持参下さい。詳しくは、☎090-2156-3510(のの山)までご連絡下さい。上記の時間以外にも、個別相談に応じます。



※会場は必ずしも
のの山けん事務所です。